

第35回山形地方裁判所委員会議事概要

第1 日時

令和3年2月17日（水）午後1時30分～午後2時20分

第2 場所

山形地方裁判所第1会議室

第3 出席者（五十音順，敬称略）

五十嵐幸弘，石澤義久，石塚久子，大石徹，金丸利博，須賀まり子，高橋修，土倉健太，富樫和光，中山正弘，西岡正樹，深沢茂之，水上嘉寛，渡辺正人
（敬称略，五十音順）

（列席職員）

秋元地裁事務局長，田邊地裁事務局次長，高山地裁総務課長，板垣家裁総務課課長補佐

（庶務）

古屋敷地裁総務課庶務係長

第4 議事

- 1 新任委員挨拶（金丸委員，高橋委員，土倉委員）
- 2 前回委員会後の裁判所の取組状況報告（裁判所における採用広報について）
- 3 議題「裁判所における新型コロナウイルス感染症への対応について」

（1）議題に関する基本説明

裁判所における対応の枠組み及び基本の方針を説明した上で，場面ごとに具体的な感染防止対策を説明

（2）意見交換

別紙のとおり

4 次回の予定等

（1）次回開催日時

6月23日（水）午後1時30分

(2) 次々回開催日時（家裁委員会と合同開催）

令和4年2月16日（水）午後1時30分

(3) テーマ

いずれも未定（委員長に一任）

(別紙)

意見交換結果（主な意見）

(◎委員長，○委員，■説明者（列席職員）)

1 裁判業務（裁判，調停，窓口での手続案内等）の場面での感染防止対策について

◎ 上記場面での感染防止対策について，気になった点，改善すべき点などがあれば御意見を伺いたい。

○ 調停の際は狭い部屋でのやりとりになるため，アクリル板を設置してもらいたい。また，調停の当事者の受付時に，マスクの着用確認と手指消毒の促しのほか，検温の実施を検討してもらいたい。

■ 裁判所は開かれた場所であることから，来庁者に対して感染防止対策を入庁の条件にすることはできないため，手指消毒液を備え付けて使用を促し，マスク着用の協力を求めている。さらに，可能な限り広い部屋を使用し，調停の前後に部屋の換気や消毒等を行っているほか，人と人との時間的接着を短くするように進行も工夫している。アクリル板については，危害行為防止の観点からの懸念があるので，慎重に検討する必要がある。

○ 一般の店舗でも，マスク着用の有無や検温の結果によって客を強制的に帰すことはできず，裁判所と同様に協力を求めるに留まっている。ただし，検温は，実施することで安心感が得られると考えている。

■ 来庁者に対し，一律に検温を強制することはできない。なお，非接触型の体温計は備え置いているので，当事者等から申出に応じて検温することはできる。

○ マスク着用により，裁判の際に表情が分からず困ることはないか。

■ 通訳人など，必要な場合にはフェイスシールドに代えることも考えられる。

2 内部業務（会議，研修等）の場面での感染防止対策について

◎ 上記場面において，委員の皆さまの職場で行っている感染防止対策で参考

になるものがあれば御紹介いただきたい。

また、気を付けている点や苦勞している点があれば、併せて御紹介いただきたい。

- 感染予防としては、裁判所と同様の対策を行っている。

なお、感染発生時のバックアップ態勢が重要と考えており、代務要員として、普段は別のフロアで勤務している職員9人をあらかじめ選んでいる。また、感染発生時に業務を行う部屋も、通常業務とは異なる場所を確保している。

- 当大学では、教職員の会議や研修は主にオンラインで行っている。授業は令和2年度の前期はオンラインで行ったが、大きな支障は感じなかった。ゼミはオンラインでも対面でも可としているが、今のところ全員が対面を選んでいる。双方向での議論は、オンラインだと難しい面があるかもしれない。

- 裁判所と同様の対策を行っており、テレビ会議も活用している。研修で外部講師に来てもらう必要があるときは、人員を厳選し、体調管理を徹底している。

- ウェブ会議を利用しているが、グループでのやりとりも集合した場合と同じようにできている。ウェブ会議には、普段参加できない人も参加することができたり、有名な講師に依頼を受けていただきやすいというメリットもある。

機器については、パソコンやタブレットを1人1台整備し、スクリーンも部屋ごとに設置している。グループでのやりとりは五、六人が望ましく、多くても10人未満がよい。グループ分けも、ウェブ会議の機能を使えば自動で行うことができる。

- 3 一般の方を対象とした集合参加型のイベント（広報活動等）の場面での感染防止対策について

- 上記場面において、委員の皆さまの職場で行っている感染防止対策で参考

になるものがあれば御紹介いただきたい。

また、集合参加型に代わるイベントの形態について参考になるものがあれば御紹介いただきたい。

- 結果として中止になったが、従前は1000人規模で行っていた集会の参加者を五、六百人に絞った。会場側からは受付における参加者全員の連絡先の把握と検温を要請されたため、いかにスムーズに行うか、相当練習を重ねた。
- 従前は1000人規模の研修を行っていたが、小単位で行うこととし、短時間で実施できるよう、講師に協力してもらってDVDを作成して配布した。
- 出前講義や社内見学などのイベントの多くは自粛することになった。必要が生じて職員が緊急事態宣言の出ている地域に行った後は、会社の費用負担でPCR検査を受けてもらい、陰性の結果が出るまで自宅待機にするなど安全対策を行った。

以 上